

研修報告

総務産業建設
常任委員会

2月2日～2月3日

1日目

●研修地

大分県 豊後大野市
人口 約3万7千人
世帯数 約1万6千世帯
面積 約600㎏

★別府、湯布院など有名な温泉にも近く、別府湾に注ぐ大野川の豊かな水理を活かした県内屈指の畑作地帯

●研修目的

空き家対策の取組みについて

●研修内容

平成17年の5町2村合併後3年で3・6%の人口減、28年11月には当初から6千人もの人口減という現状。

同時に、移住希望や空き家に対する問い合わせも増えてきた。

並みを生かしたユニークな取り組みに興味を持った。

●研修地

大分県 臼杵市
人口 約4万人
世帯数 約1万7千世帯
面積 約291㎏

★山間地の人口減少問題を抱えつつも国宝臼杵石仏や古い町並みなど歴史文化の香る町の特徴を活かし観光事業の盛んな市として有名

●研修目的

空き家対策の取組みと移住、定住サポート支援策

●研修内容

高齢化率37%、20年後には人口が3万を割る推計が出ている。この現象に歯止めをかけるため移住定住施策体制の確立を



目指し協働まちづくり会議を設置し①移住支援②空き家バンク③子育て支援④モニターツアー開催を柱に、行政が連携して支援する仕組みをスタートさせて一定の成果を上げている。

●今後の課題

空き家バンクの登録・活用及び若者の定住促進への施策、特に空き店舗活用事業や婚活推進協議会の設置など、興味深いものがあつた。今後も注視していきたい。

そのための厳しい財政面からパーパスによる環境コスト削減に取り組む行政と合致する環境にあつた。議長主導による『ICT導入検討委員会』を発足させタブレットの機種選定や通信費等のコストにつき議員負担分の金額決定なども了承を得ることができたとのこと。

●研修目的

タブレット端末の導入について

●研修内容

合併により地理的背景も変わり、議会議務局と各議員間の各種連絡事項が完全につながるためにも双方のスムーズな連絡体制が望まれるようになった。



1日2ヶ所の研修は、少しハード



慣れない手つきで、タブレット操作

●今後の課題

松前町として、同様のタブレット導入はまだ環境が整っていないが、今後の先進地の動向は注視していきたい。